

## 活用実践事例

授業の概要					
学校名	小学校				
授業日時	2015年2月10日	学年	1年	教科	国語
単元名	かたちのにているかん字				
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形の似ている漢字を区別し、正しく読み書きする。</li> </ul>				
単元の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>①形の似ている漢字を比べて違うところを見つける。 形の似ている漢字を使って、文を書く。</li> <li>②形の似ている漢字を組みにしてそれぞれの違いに注意しながら文を作る。</li> <li>③既習漢字の中から形の似ている漢字を見つけ、違うところを見つける。 見つけた形の似ている漢字を使って文を作る。(本時)</li> <li>④集めた漢字で文を作り、全体で交流し、友達の良いところを見つけて、互いに教え合う。</li> </ul>				
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の漢字の中から形の似ている漢字を探して、正しく読み書きすることができる。</li> </ul>				
本時の授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 少人数学習 <input type="checkbox"/> 習熟度別学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習				

## 活用実践事例

ICT活用場面	
授業場所	普通教室
ICT機器活用場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者 <input type="checkbox"/> ICT支援員 <input type="checkbox"/> 授業づくり指導員
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 学習者用タブレット <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他
	その他      NoteAnytime
活用コンテンツ	<input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> SKYMENU <input type="checkbox"/> Schoology <input type="checkbox"/> その他
	その他
タブレット活用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一人一台 <input type="checkbox"/> 学習班に一台
活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形の似ている漢字をドラッグ&amp;ドロップで簡単に移動させ、違うところに簡単にマーキングをすることができるので、意欲的に学習することができた。</li> <li>・コピー&amp;ペーストで同じ内容のシートを作成して教材を作成しておいたので、早くできた学習者は何通りもチャレンジすることができた。</li> <li>・短文を作成する際、アンドゥ機能で元に戻したり、ドラッグ&amp;ドロップで簡単に移動することができるので、何度も消しゴムで消す必要がなかった。</li> </ul>

## 活用実践事例

授業の展開			
学習の流れ	ICT活用場面	ポイント	
<p>【導入】 電子黒板の漢字を見て、既習漢字を振り返る。</p> <p>【展開】 既習漢字の中から似ている漢字を探し、違うところをマーキングする。</p>	<p>80文字の既習漢字を電子黒板に提示する。</p> <p>80文字の中から、形の似ている漢字を選び、枠内に動かす。 分かりやすいように拡大して、違うところをマーキングする。</p> 	<p>NoteAnytimeで作成した教材を活用し、形の似ている漢字をドラッグ&amp;ドロップで動かして、マーキングする。</p>	
<p>見つけた漢字の似ているところや違うところについて、隣どうし話合う。</p>	<p>タブレットの画面を見せて、伝える。</p> 		<p>どこがどのように似ているのか、違うのか、相手にわかりやすく説明する。</p>
<p>見つけたものをみんなに紹介する。</p>	<p>タブレットの画面を電子黒板に投影し、発表する。</p> 		<p>画面転送装置で学習者の画面を電子黒板に提示する。 画面を拡大し、相手にわかりやすく説明する。</p>

## 活用実践事例

自分が見つけた漢字の中から短文を作る。

タブレットの画面を拡大し、手書きで短文を書く。

タブレットの画面を拡大し、一画一画丁寧に書くようにする。



作成した短文を隣どうし紹介し合う。

タブレットの画面を見せて、伝える。



みんなに紹介する。

タブレットの画面を電子黒板に投影し、発表する。

画面転送装置で学習者の画面を電子黒板に提示する。

【まとめ】

作った文から、一番気に入ったもの1つをノートに書く。

タブレットに書いた文を見ながら、ノートに書く。

